

全道各地からサッカー少年少女が集結 「フットサル大会」開催



北海道日刊スポーツ新聞社の主催により、11月23日と24日の2日間、「ISHIYA白い恋人杯第27回日刊スポーツ芦別少年フットサルフェスティバル」が開催されました。

この大会は、芦別市総合体育館・勤労者体育センター・芦別中学校の体育館を会場に行われ、全道各地から40チーム・387人の小学生が参

加。各会場では多くの保護者や関係者が試合を見守る中、勝利を目指して必死にボールを追いかける選手たちが熱い戦いを繰り広げました。

また、地元開催となった芦別サッカー少年団は11人の選手が出場し、たくさんの応援を力に奮闘。随所にレベルの高いプレーを見せ、日頃の練習の成果を発揮しました。

芦別出身のユーフォニアム奏者・安東京平さんが凱旋公演

11月24日、芦別出身のユーフォニアム奏者・安東京平さんが所属する「アンサンブル・ドスアンコ」の演奏会が市民会館で行われました。

高校までを芦別で過ごした安東さんは、国立音楽大学卒業後に渡米し、数々の国際的コンクールなどで優秀な成績を収められている日本を代表

するプロのユーフォニアム奏者です。

今回の芦別公演は「故郷で演奏会をやりたい」という安東さんの熱い思いから実現。「中学で吹奏楽を始めて一番最初に立った舞台に戻って来られて嬉しい」と挨拶し、安東さんらが織りなす美しい音色に聴衆は酔いしれ、会場は大喝采となりました。



「市民のど自慢の集い」趣向を凝らした演出で盛り上がる



「第38回市民のど自慢の集い」が、12月1日、市民会館で開かれました。

当日は芦別スターキッズ・ダンスMaxの子どもたちによるバレエダンスで開幕し、各町内会や老人クラブ、ダンスサークル、カラオケ愛好会など、32の個人や団体が次々にステージに登場。自慢の歌や踊りに加

え、各出演者とも趣向を凝らした演出で観客を盛り上げ、会場はたくさんの拍手や笑いに包まれました。

また今回は、芦別みどり幼稚園年長組が初登場し、37人の子どもたちが元気いっぱい舞台上で躍動。大きな歌声と可愛いダンスを披露し、会場は大いに盛り上がりました。

子どもたちによる個性豊かな「ミニしめ縄」が完成

12月14日、市内の子どもたちが参加し、年末恒例の「ミニしめ縄作り」が児童センターで行われました。

当日は民生委員児童委員協議会のメンバーや先生方によるサポートを受けながら、参加した子どもたちはしめ縄作りに懸命に挑戦。長さ60センチほどのわらを編み、紙垂かみしてのほか

色とりどりの造花や水引などを飾り付け、それぞれの願いや希望が込められた個性豊かなしめ縄が完成しました。

新たな年も、健康で笑顔溢れる幸せな一年になるよう、お正月には子どもたちが手作りしたしめ縄が「福」を迎え入れるでしょう。

